

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2011
4


4月1日 神奈川県交通安全協会は、
公益財団法人となりました。

今年の交通安全年間スローガン(全日本交通安全協会会長賞) —こども部門—

あぶないよ 会話にむちゅうの 登下校



ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(3月末)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成23年		9,284	32	10,911	県人口	9,029,996	4,543,159	4,486,837
平成22年		9,975	48	11,829	免許人口	5,496,513	3,215,334	2,281,179
増減数		-691	-16	-918	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人
増減率		-6.9	-33.3	-7.8				

(県人口は平成22年9月1日、免許人口は2月在)

会長就任にあたって

安全で住みよい神奈川を目指して

公益財団法人 神奈川県交通安全協会

会長 石坂 浩二



申し上げます。

三月一日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様とご家族に心からお見舞いを申

上げます。さて、この度の理事会において「神奈川県交通安全協会会長」を仰せつかりました石坂浩二でございます。微力ではありますが交通安全活動の推進と交通安全協会の発展に努力いたす所存でありますのでご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県交通安全協会は、民間における交通安全活動の中核的な組織として、戦後間もない昭和二三年三月の発足以来、実に半世紀以上にわたり交通事故防止実現のための活動を続け、多くの実績と輝かしい歴史のある団体であると認識しております。そして新年度からは公益財団法人として再スタートしました。

新たな公益法人の会長として、その重責をひしひしと痛感しているところであります。

私は、皆さんもご存知のとおり俳優でございますが、神奈川県には縁が

深く横浜に住んでおります関係上、一昨年まで「横浜コンベンション・ビューロー理事長」を務めたかたわら「横浜人形の家の館長」を務めておりました。

そのようなことから今後、さらに神奈川県のために何かお役に立てないかと、形や行動でボランティア活動に力を注いで行きたいという気持ちがございます。したところ、「神奈川県交通安全協会会長」のお話がございますのでお引き受けした次第であります。

岡崎会長の後任を託され、交通安全の推進と協会運営等に携わることになりましたので皆様方と手

インフォメーション

を携えて、その重責を全うして参りたいと存じますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝を心から祈念申し上げます、会長就任のごあいさつとさせていただきます。

・自転車マナーアップ運動
5月中

・春の全国交通安全運動

5月11日(水)～5月20日(金)

・交通事故死ゼロを目指す日 5月20日(金)

・関東交通安全協会連合会表彰式 5月20日(金) 14:00 浦和ロイヤルパインズホテル

・正副会長会議 5月23日(月) 14:00

・第2回理事会 5月23日(月) 15:00 県協会会館

・第2回評議員会、第3回理事会 5月30日(月) 14:00 県協会会館

・公益財団法人神奈川県交通安全協会発足式 5月30日(月) 17:30

新横浜国際ホテル

公益財団法人としてスタート

～平成23年4月1日設立登記～

平成一八年六月に、既存の二万四、〇〇〇民法法人に対し、「民による公益の増進」を目的に掲げ、その変革を求める法律が公布されました。同法は、平成二〇年二月一日に施行され、五年以内に「公益財団法人」か「一般財団法人」への移行を求めるものでした。(財)神奈川交通安全協会では、これに的確に

対応するため、平成一九年から専従体制で、鋭意検討を重ねた結果、昨年(二〇二二)年二月八日に電子申請による「公益認定申請」を行いました。そして、本年三月二二日の「県公益認定等審議会」で「公益認定の答申」をいただき、四月一日に念願の「設立登記」を行いました。

主務官庁であります県

警察をはじめ理事、監事、評議員の方々のご指導を賜りながら登記まで四年一〇カ月を要しました。今後は、公益財団法人として新会長の下、地区交通安全協会や関係機関・団体の皆様と協働しながら、より質の高い公益目的事業を推進していく決意を新たにしました。

新横浜国際ホテル

23年度「県交通安全協会事業計画」の概要

〔趣旨〕

本年度は、公益財団法人として新たなスタートを切るとともに、県や県警察の指導を得ながら、地区交通安全協会と一体となり、交通ルールの遵守と交通マナーのレベルアップ等「人優先」の交通安全思想の普及を図るため、「ハンドルキーパー運動」や「夜光反射材の普及」をはじめとした広報啓発活動を強力に推進して「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、更なる公益性の高い交通安全活動事業を積極的に推進する。

〔年間スローガン〕

「安全は 心と時間のゆとりから」

〔重点〕

- (1) 子どもと高齢者の交通事故防止
- (2) 二輪車・自転車の交通事故防止
- (3) 飲酒運転の根絶（ハンドルキーパー運動の推進）
- (4) 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- (5) 暴走族の追放
- (6) 全ての座席のシートベルト

ルトとチャイルドシート
の正しい着用の徹底
(7) 夕暮れ時の前照灯の
早目点灯

〔年間運動等〕

年間運動および各季の運動等については、下表の取組みを通じて、交通安全に関する広報・啓発活動を関係機関・団体と連携して推進します。

県協会評議員会・
理事会の開催



4月4日(月)に県協会会館において県協会評議員会・理事会が開催されました。

会議には県警交通部長をはじめ、交通部、県くらし安全交通課長等の幹部を来賓に迎え、「平成23年度事業計画」「平成23年度予算」「人事案件等」について審議・報告が行われました。

平成23年交通安全事業計画

No.	行 事	開 催 日 ・ 場 所 等
1	安 全 委 員 会	2月17日(木) 県協会 5階中会議室
2	交 通 指 導 員 連 絡 会 議	3月4日(金) 県協会 4階大会議室
3	新入学児童・園児を交通事故から守る運動	4月5日(火)～11日(月)
4	自 転 車 マ ナ ー ア ッ プ 強 化 月 間	5月1日(日)～31日(火)
5	自 転 車 交 通 安 全 の 日	5月5日(木)
6	春 の 全 国 交 通 安 全 運 動	5月11日(水)～20日(金)
7	交 通 事 故 死 ゼ ロ を 目 指 す 日	5月20日(金)
8	第42回二輪車安全運転神奈川県大会	5月21日(土) 運転免許試験場
9	二 輪 車 交 通 事 故 防 止 運 動	6月1日(水)～30日(木)
10	第42回交通安全こども自転車神奈川県大会及び 第6回交通安全3世代ふれあい自転車神奈川県大会	7月2日(土) 横浜文化体育館
11	夏 の 交 通 事 故 防 止 運 動	7月11日(月)～20日(水)
12	第46回交通安全子供自転車全国大会	8月3日(水) 東京ビッグサイト
13	第44回二輪車安全運転全国大会	8月6日(土)～8月7日(日) 鈴鹿サーキット
14	バ イ ク の 日	8月19日(金)
15	秋 の 全 国 交 通 安 全 運 動	9月21日(水)～30日(金)
16	交 通 事 故 死 ゼ ロ を 目 指 す 日	9月30日(金) 全国一斉
17	自 転 車 安 全 整 備 制 度 プ ロ ッ ク 会 議	10月6日(木) 静岡県
18	二 輪 車 安 全 運 転 指 導 員 資 格 審 査	10月22日(土) 運転免許試験場
19	飲 酒 運 転 根 絶 強 化 月 間	11月1日(火)～30日(水)
20	自 転 車 安 全 教 育 指 導 者 講 習 会	11月4日(金) 辻堂交通公園
21	自 転 車 安 全 教 育 ・ 二 輪 車 安 全 運 転 推 進 委 員 会	11月16日(水) 県協会会館
22	年 末 の 交 通 事 故 防 止 運 動	12月11日(日)～20日(火)

タイムマシーンをあげたい ⑩

警察官から見た交通事故の回顧録

帰ってきたランドセル

下校途中、歩道にしゃがんでいた小学生の女の子が、ワゴン車にひかれて亡くなりました。

その日の朝、女の子は、いつものように「行ってきます。」と笑顔で出かけて行きました。

お母さんは、背中を全部隠してしまいうくらい女の子にとつて大きなランドセルが、どんどん小さくなって曲がり角で見えなくなるまで見送るのが日課でした。

女の子は、いつもは何度も振り返っては手を振りながら歩いて行くのですが、その日はお友達と話をしながらお母さんの方を一度も振り向かず歩いていったので、お母さんは、曲がり角まで見送らないで家に入り、「まだ、小さな娘だけど家庭以外の世界が広がっているのね。」と娘の成長が嬉しいような少し寂しいよう

な複雑な気持ちになりました。この日の朝の登校を、最後まで見送らなかつたことを、激しく後悔することになるうとは、夢にも思わなかつたことでしょう。

幼い命を奪った事故から二カ月が経ちました。

未だ、気持ちの整理がついていないお母さんの元に、女の子のランドセルが帰ってきました。

このランドセルを背負っていた、片手で包み込めるくらい小さな肩や肩ベルトをつかんでいたぷくぷくした手の感触、ミルクのような甘い女の子の匂いは、もう二度とお母さんの元に戻ることはないのです。

「お帰りなさい。やっと帰ってきましたね。」とランドセルをギュッと強く抱きしめて、娘に思いを馳せるお母さんに、ランドセルの革の冷たい感触が、厳しい現実を突きつけていました。

自転車運転中の 携帯電話、イヤホン等の使用が禁止 されます！

神奈川県道路交通法施行細則 一部改正（平成 23 年 5 月 1 日施行）



5 万円以下の罰金

携帯電話等・・・
注意力を欠いたり、ハンドル・ブレーキ操作などの安定性を損なうおそれがあります。

イヤホン等・・・
注意力を欠いたり、周りの音や声が聞こえず、安全運転に支障をきたすおそれがあります。

神奈川県警察

東日本大震災に義援金

県協会では、神奈川新聞厚生文化事業団を通じて、理事、評議員等役員、職員から募った55万1,000円を震災救援のため寄付しました。

平成22年交通安全ファミリー作文コンクール入選作品の紹介

優秀作 内閣府特命担当大臣賞



神奈川県小田原市
直井 千佳(主婦)

孫からのお願い

「おじいちゃん お願い、お願い。事故を起こしたらどうするの？」

「んー」黙り込む祖父。

三年前になるだろうか、久しぶりに会った祖父との会話だ。祖父はだんだんと耳が遠くなっている事が、電話でもわかつていた。

離れて暮らす孫の私を迎えに、駅まで車で来てくれたが、以前の運転と違い、助手席にいた私は久しぶりに会えた嬉しさより、怖さを感じた。

祖母は定年後、ゆつたりと暮らしている。二人の楽しみは、お弁当を持って出かけるドライブだ。春には梅に桜、秋には紅葉。毎週のように車で出かけていたという。

以前は私も日本三景の松島と、磐梯山へのドライブに連れて行ってもらった。本当に楽しかった。

あれからも、変わらないおじいちゃん、おばあちゃんと孫の関係。しかし、老化は私の祖父にも訪れているんだと感じた。

ある交通事故のニュースを思い出した。七十代の男性が運転する車が、二十代の青年のバイクと接触。残念ながらその青年は亡くなった。高齢者が若者の命を奪ってしまった。

もし祖父が事故を起こしたらと考えると、声を大きくして、つい強い口調で言ってしまった。

「おじいちゃんお願い、もう車の運転はしないで。ね、お願い、お願いだから」。

あれから数日、祖母から車はやめたよと電話で聞かされた。「子ども達に言われても聞かなかったけど、孫からのお願いは凄いな」。

祖父の少し寂しそうな顔が浮かんだ。田舎では車が無くなれば、行動範囲は狭まる。どうしているの？

しかし聞けば、バイクなら事故を起こしても自分一人だから大丈夫と、原付スクーターに乗り、ゆつくりと運転しているという。まだ心配だった。「安全運転をお願いしますね」。電話ではそんな会話をしていた。

そして昨年の年末、祖父は原付バイクでケガをした。

幸いにも、だれも巻き込まず、祖父一人のケガだった。祖父はブレーキをかけたが、スピードが速かったのか、止まる瞬間に足を痛めてしまったのだ。

判断力も衰えてきていた。病院に駆けつけると足を固定した祖父が、ベッドに腰掛けていた。

大好きな温泉帰り途中のケガだったという。

だれにでも老化は訪れている。

孫からのお願いは、「もうバイクは乗らないでね」。祖父はもう分かっていて。今度のお願いは、そつとつぶやいただけにした。

「早く元気になって、私の結婚式にはかっこよく歩いてきてね」。このお願いは何度もした。祖父は嬉しそうに、何度も何度も「大丈夫、大丈夫、リハビリがんばるよ！」。

そして約束どおり、結婚式にはかっこいいおじいちゃんとして出席してくれた。ありがとう。ありがとうございます。

これからも交通事故に気を付けて、長生きしてください。免許を返してくれて、本当にありがとう。

優良職員表彰式

長年にわたり交通安全協会の業務に精励し、効率的な業務運営に貢献した職員の表彰式が3月9日、県協会会館で行われました。受賞者は次のとおりです。

(敬称略、50音順)

●30年勤続表彰(2名)
福澤恵子(大和綾瀬) 渡邊京子(緑)

●20年勤続表彰(7名)

浅子公恵(県安協) 市川英子(葉山町) 岸伸子(厚木署管内) 興水恵子(宮前) 古根村良子(港北) 笹森モト(相模原北) 福本悦子(葉山町)

●7年勤続表彰(7名)
井澤昌子(川崎) 熊谷工(県安協) 栗城江理香(同) 齋藤絃榮(麻生) 柴田美香(県安協) 宮内佳刈(港北) 柱仁(横須賀)

トピックス

「歩行者横断トレーナー」の紹介

高齢化社会を迎え、高齢者の道路横断事故が多発しています。

「歩行者横断トレーナー」は、車の速度をLEDの点灯に置き換え、歩行者が歩道を安全に横断できるかを疑似体験できます。

「機器の構成」は、制御機・1基、速度灯(パイロ付)・10灯、車幅灯(パイロ付)・2灯、横断マット・2枚、収納木箱・2個 ※ワゴン車に搭載可





ハンドルキーパー運動の紹介

その174 戸部交通安全協会から

戸部交通安全協会(大久保満男会長)では、警察署で毎月開催している「交番の日」のキャンペーン等で「ハンドルキーパーのぼり旗」を掲出し、ハンドルキーパーチラシなどを配布しながら、来場者に運動の実践を呼びかけました。



その173 金沢交通安全協会から

金沢交通安全協会(横井正巳会長)では協会事務所に「ハンドルキーパーのぼり旗」を掲出、事務所に「ハンドルキーパーポスター」を貼付して恒常的にハンドルキーパー運動の展開を図っています。



その176 保土ヶ谷交通安全協会から

保土ヶ谷交通安全協会(板橋悟会長)では、相鉄天王町駅周辺の飲食店を訪問して、ハンドルキーパーチラシなどを配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その175 鶴見交通安全協会から

鶴見交通安全協会(東海林昭市郎会長)では、京急生麦駅周辺の飲食店を訪問して、飲酒運転根絶の「ミニ小旗」を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その178 藤沢市交通安全協会から

藤沢市交通安全協会(山崎敏治会長)では、JR東海道線藤沢駅南口周辺の飲食店を訪問して、飲酒運転根絶の「ミニ小旗」を配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その177 港南交通安全協会から

港南交通安全協会(高森政雄会長)では、京急上大岡駅前、「ハンドルキーパーのぼり旗」を掲出し、ハンドルキーパーチラシなどを配布しながら、道行く人にハンドルキーパー運動の広報啓発活動を展開しました。





足柄交通安全協会
会長
安藤 薫さん

あんど
かおる
安藤 薫さん

足柄交通安全協会は、昭和23年4月に発足しました。当初、警察署内にありましたが事務所は、昭和48年10月に新築移転して現在に至っております。

ご案内のとおり、当協会は、東に平塚市、西に箱根連山を従えた富士を仰ぎ、北は丹沢、南は小田原を経て相模湾が一望でき、足柄平野の中央を酒匂川がゆつくり流れる風光明媚なところです。南足柄市、中井町等1市5町を受け持ち、総人口は11万2,100人、会員数は4万7,000人余で東名高速大井松田ICには国道246号、255号が接続し、交通アクセスには恵まれています。

今回は、この地で会長を務める安藤薫さんを紹介いたします。

安藤さんは、昭和63年に代議員として当協会の運営に参画し、以降、理事、常任理

事の要職を歴任され、昨年4月に第13代会長に就任されました。

足柄協会の主要行事である「自転車の安全な乗り方 足柄上地区大会」、「足柄交通安全シルバード大会」、「足柄女性交通大学」の開催に当たっては、企画、運営、講演内容や講師の人選に参画し、今までの手法にこだわらず、新しい感覚でマンネリ化に陥らないように努めるなど、強いリーダーシップを発揮されております。また、各季の交通安全運動等で行われるキャンペーン等の企画には率先垂範して参加され、特に、昨年12月に実施された飲酒運転根絶運動期間中のキャンペーン実施日は雨が降る寒い夕方でしたが、駅周辺の飲食店を先頭に立って訪問し、「ハンドルキーパー運動」の実践を熱心に呼びかけました。

南足柄市の大雄山最乗寺

の足柄山塊の麓にお住まいの安藤さんは、果樹園芸を中心とした農産・加工を専業としており、近年、奥様が立ち上げた「やまぎや工房」で造る「柚子皮の砂糖菓子」や「八重桜塩漬け入り桜おこわ」など会長デザインの可愛い挿絵ラベルを付けて、小田原市成田にあります「JA朝ドラファーム」で販売しており、お客様からは「凄く美味しい!」と好評を得ています。一方、「落語」を趣味としており、市、町の福祉団体などの集いに招かれては「安藤流の笑い」を配達してまいります。もちろん、話の中に「交通安全・安協の役割と入会のすすめ」を一言付け加えることも忘れていません。

日頃「子どもや高齢者の交通安全意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを目指して努力しなければならぬ」と話している安藤さんですが、健康に留意され、新進気鋭の交通ボランティアリーダーとして今後の活躍を願っています。

(取材協力：足柄交通安全協会)

こんにちは
戸部交通安全協会です

こんにちは、横浜市西区にある戸部交通安全協会です。なぜ西区なのに「戸部」？ 横浜開港当時、神奈川奉行所(現、県立音楽堂周辺)が置かれたのが「戸部村」、そんな歴史的名残もあるのでしょう。西区は横浜市で一番小さな区でありながら、歴史的重みのある「横浜駅」や近未来的な「みなとみらい地区」を背負い、まさに新旧融合しつつ現在も発展中、ボリューム満タンの区です。

さて、4月になり、街角で黄色いランドセルカバーをつけた「ピカピカの一年生」を見かけると本

当に微笑ましい気持ちになりますが、同時に当協会会員の皆様の暖かいご理解に感謝し、安堵するときでもあります。

と申しますのは、このランドセルカバーは、会員の方々の大切な会費で購入させていただき、区内全9校の新入学児童へ寄贈させていただいているからです。

また、地域企業、団体からも交通安全ファイルや反射リストバンド等もいただき、新入学児童へ配布しております。このように、安全協会の活動は、会員や地域の皆様の支えがあってこそ成り立つものです。現在、戸部署管内は2年連続「高齢者交通事故多発地域」の指定を受け、活動を展開しております。最近う



れしいことは、地域とのつながりも少しずつ広まり、交通関係団体との連携はもとより、町内会単位の行事へも関係者の方々から声をかけていただき、交通事故防止啓発活動の機会が多くなって来たことです。こうしたつながりを大切にして、これからも地域に根ざした活動を展開していきたいと考えています。

(鈴木 記)

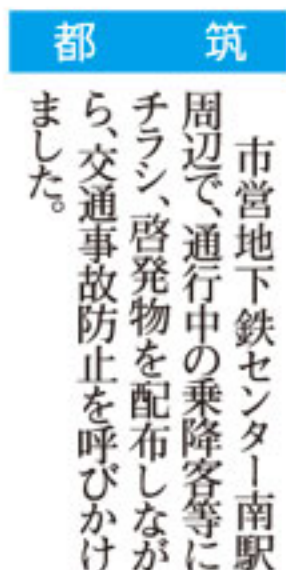
地区交通安全協会の活動紹介

～交通街頭活動・安全教育～



宮前

東高根森林公園入り口付近で、二輪車の街頭点検を行い、多発する二輪車事故防止を呼びかけました。



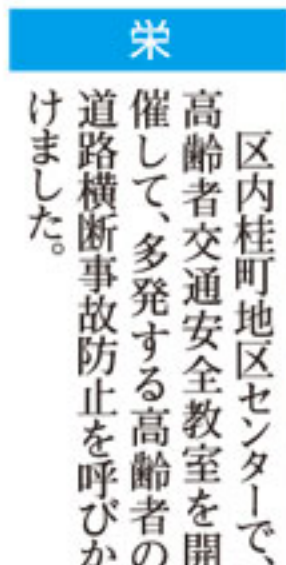
筑

市営地下鉄センター南駅周辺で、通行中の乗降客等にチラシ、啓発物を配布しながら、交通事故防止を呼びかけました。



三浦市

毎月の交通安全日に、区内の小学校へ赴き、登校してくる児童に「交通安全」を呼びかけています。



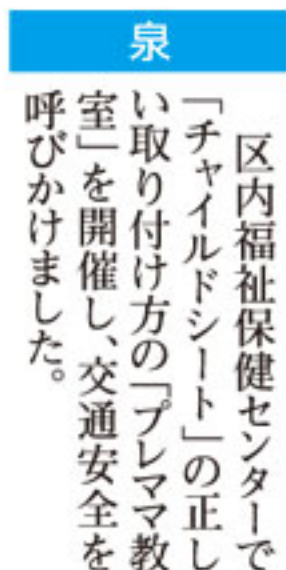
栄

区内桂町地区センターで、高齢者交通安全教室を開催して、多発する高齢者の道路横断事故防止を呼びかけました。



座間市

座間警察署前交差点付近で、通行中のドライバーやライダーにチラシ、啓発物などを配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



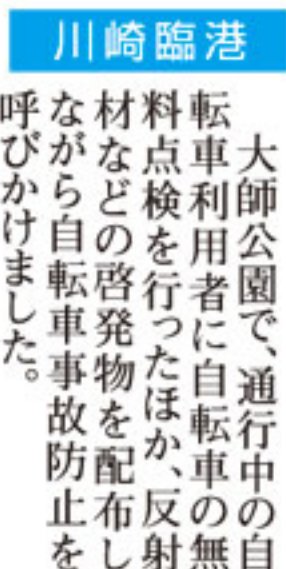
泉

区内福祉保健センターで「チャイルドシート」の正しい取り付け方の「プレママ教室」を開催し、交通安全を呼びかけました。



相模原南

相模原南警察署前国道16号で、「早めのライト点灯」や「飲酒運転根絶」のハンドプレートを表示しながら、ドライバーに交通事故防止を呼びかけました。



川崎臨港

大師公園で、通行中の自転車利用者に自転車の無料点検を行ったほか、反射材などの啓発物を配布しながら自転車事故防止を呼びかけました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

「新入学児童・園児を交通事故から守る運動」が始まり、多くの交通指導員の方々が街頭活動に取り組んでいただいている。

そのような中、「お早うございます。」真新しいランドセルを背負った新一年生たちの元気な姿を街のあちこちで見かける。希望に胸をふくらませた新一年生たちの車社会への参加です。

昨年、県下で子ども（15歳以下）の関係した交通事故は3,950件、死傷者は4,224人で、一日あたり約12人の子どもが交通事故の犠牲になっていることになりました。子どもの交通事故は、とりわけ悲惨であります。

安全運転や交通ルールの遵守に努め、子どもたちが交通事故の犠牲とならないよう社会全体として取り組む必要があります。

子どもには、正しい交通ルールとマナーの基本をしっかりと身につけさせることが重要であります。

特に、大人の行動は子どもの手本であり、子どもに大きな影響を与えることとなります。「横断歩道以外横断」、「信号無視」など、心ない行動は厳に慎みたいものである。

次代を担う、子どもたちが悲惨な交通事故の犠牲とならないよう願わずにはいられない。

ところで、この季節新たなスタートの時期でもあります。

当協会も、4月1日から「公益財団法人神奈川県交通安全協会」として、再出発することになりました。

職員一同、新たな気持ちで公益の名に相応しい業務運営に努めてまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

(N・N記)